

市庁舎整備に係る埋蔵文化財調査について

1 概 要

市庁舎耐震改修に伴い整備が予定されている庁舎前駐車場は、かつて薬研堀が存在した場所である。

今回薬研堀がどの程度の幅だったのかを確認するための「試掘調査」を実施した。

2 調査個所 鳥取市役所駐車場（別紙のとおり）

3 調査期間 平成24年6月11日（月）～平成24年9月15日（金）

4 調査結果

3か所のトレンチ（掘削範囲）を設定し、期間中順次調査を実施した。

各トレンチで、I. 薬研堀期 II. 江戸期、III. 近代以降の3時期の遺構を検出。

Iは、安政5年『鳥取城下全図』に描かれた薬研堀以前の薬研堀跡と考えられる。いずれのトレンチでも石積みを確認することはできなかったことから、石積みの護岸ではなかったと考えられる。

IIは、Iの薬研堀を埋め立てて整地した層で、整地後の井戸や、石臼を転用した溝状遺構を検出している。『城下全図』に描かれた時代に相当すると考えられる。

IIIは、IIの上層にあたり、近代以降と考えられる建物基礎等を検出している。また、薬研堀を建物基礎に利用したと考えられる建物跡を確認した。

上記の試掘調査の結果から、鳥取市役所駐車場は、薬研堀の変遷を知るうえで非常に重要な遺構が残されていることが判明した。

5 今後の調査計画

- 市庁舎改修工事に伴い、必要な範囲について本調査を実施する。
- 駐車場を4調査区に分けて調査を実施する計画である。
- 調査期間は第1第2調査区を9か月、第3第4調査区を9か月を要する見込
- 調査時期は庁舎整備の全体工程の中で最も効率の良い時期に実施する。

薬研堀：町人屋敷と武家屋敷を区画する堀で、江戸時代を通じて徐々に埋め立てられ、昭和初期の下水道管の敷設により、現在は完全に埋め立てられている。現在の市役所と駐車場の間の通路部分が該当する。